

第 49 回日本脊椎脊髄病学会開催記

第 49 回日本脊椎脊髄病学会学術集会を 2020 年 9 月 7 日（月）～9 日（水）に神戸コンベンショナルセンター（神戸国際展示場，神戸国際会議場，神戸ポートピアホテル）にて開催いたしました。当初，本学術集会は 2020 年 4 月 16 日～18 日に名古屋国際会議場で行われる予定でしたが，新型コロナウイルスの世界的な流行に伴い延期を余儀なくされました。延期の決定後も新型コロナウイルス感染症拡大防止策を徹底しておこない，神戸コンベンショナルセンターで現地開催する予定で準備を進めておりました。しかし，新型コロナウイルスの第二波感染拡大が予断を許さない状況となり，再度方針変更いたしました。多くの方々が現地参加できないことを考慮し，従来の現地開催に加えて，Web 上でオンデマンド配信および，シンポジウム・症例検討・共催セミナー等の一部をライブ配信で視聴・討論に参加できる「ハイブリッド開催」することにいたしました。我々医療従事者は感染拡大のリスクを最小限とすることを第一とすべきです。しかし，医療医学の発展，及び社会経済的視点から，我々はこの学術集会開催形態を考えなくてはなりませんでした。現地会場では，感染対策室専門家の意見に従って感染予防対策を徹底し，十分な会場スペースを確保しソーシャルディスタンスをしっかりと保てるようにできる限り努力をいたしました。（写真 1,2）

本学会の国際化を最重要事項と考え学会のテーマは「ALL JAPAN からグローバルセッションへ」とし，海外，特にアジア圏から約 40 名のエキスパート脊椎外科医にご講演や症例検討をお願いしておりました。また英語セッションには海外から 108 題と多くの演題登録をいただいております。しかし，皮肉なことに新型コロナウイルスのために海外からの参加が不可能となりました。そのため，急遽企画を変更し，日本人のみでセッションの組み直しを余儀なくされました。しかし，このような状況下においても現地参加・Web 参加を合わせて 1,933 名の皆様にご参加いただきました。現地来場者は約 3 割にあたる 564 名、会期中の Web 参加は約 1,000 名でした。現地と Web とのハイブリッド形式のシンポジウムや症例検討は Web 参加であること忘れるような一体感のあるセッションとなりました。（写真 3,4,5） 主題・一般講演は現地発表可能な演者にはご講演いただきました。セッションの参加者は少なかったですが，その分濃厚なディスカッションができました。会期後は，すべてのセッションをアーカイブ化し，一定期間，各演題の音声付きスライドの閲覧のみならず，ライブ映像の録画視聴もお楽しみいただきました。企業展示会場では松山会長が回覧し，それぞれの企業のセールスポイントを動画配信しました。（写真 6,7）

今回の学術集会では、数千人に及ぶ人の移動、集合を行うことなく、活発な学術的交流を図ることができる全く新しい形の学術集会のあり方を提案し、未来に向けた大きな第一歩にできたのではないかと考えております。

写真1．受付入り口

参加者全員の検温と手指消毒による感染対策



写真2．会場の様子

ソーシャルディスタンスの遵守を徹底した会場



写真3．特別講演

演者には Web でご講演いただきました。

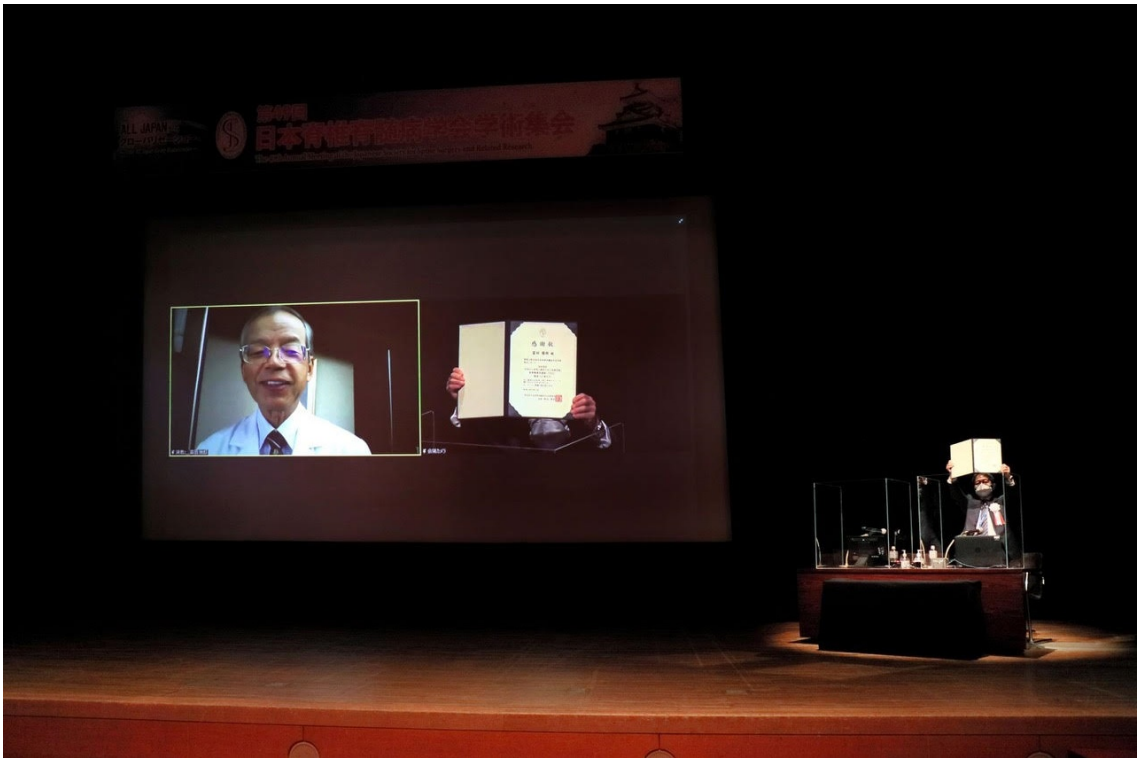


写真4. シンポジウム

現地参加者と Web 参加者によるハイブリッド形式の討論



写真5. 教育研修講演

座長・演者ともに Web 参加の講演では急遽現地座長をお願いしました。



写真 6 . 展示会場

広い会場で空間的に余裕のあるレイアウトにしました . 人員を最低限にすることで 3 密を避けました .



写真7. 企業展示レポート

会長自ら企業展示レポートを行いWeb配信しました。本学会の新たな試みの一つです。

